

地域活性化に資する取組の概要

★ 人口減少、少子高齢化等の社会構造の変化を見据え、行政サービスのあり方を時代に合ったものへと見直すとともに、特徴を生かした活力あるまちを創造することを目的に「一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定

- 「移住定住の促進」を総合戦略の基本的方向のひとつとして掲げ、移住者への経済的支援、相談窓口の強化及び就農支援等に取り組んでいる(具体的な事業の主なもの次のとおり)。
 - ・ 移住定住環境整備事業(移住者住宅取得補助)
 - ・ 移住定住環境整備事業(空き家バンク登録住宅改修等補助)
 - ・ 農村地域定住・就農促進対策事業

物件数 充実! 空き家バンク



地域活性化に資する住宅取得に対する財政支援の概要

● 一関市移住者住宅取得補助金

1 基本額

- ① 申請書を提出した日において申請者又はその配偶者のいずれか又はいずれもが40歳未満である場合 新築:100万円 中古:50万円
 - ② 申請書を提出した日において申請者又はその配偶者のいずれもが40歳以上である場合 新築:50万円 中古:25万円
- 2 市内施行業者加算(新築住宅の建設工事の請負契約を市内施工業者と締結した場合) 20万円
- 3 申請書を提出した日において同一世帯の者に中学校卒業前、中等教育学校の前期課程終了前又は特別支援学校の中学部卒業前の者がいる場合 被扶養者1人につき5万円

平成29年度予算額:3,600万円



関連するトピックス等

国及び岩手県の総合戦略を勘案の上、「一関市人口ビジョン」(市の人口の現状と将来展望を示したもの)及び「一関市総合計画」(市策定の最上位計画)と整合を図ることとし、課題別計画である「一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、次の4つの基本目標を定め、目標実現のための各種施策を盛り込んでいる。

- ① 市民が力を発揮できる仕事を創出し、若者や女性が集うまちを目指します
- ② 社会全体で子育てを支援し、次代の担い手を応援するまちを目指します
- ③ 心豊かに安心して暮らせる、住みたい、住んでよかったまちを目指します
- ④ 未来へ引き継がれる、誇りと愛着が持てるまちを目指します



住宅金融支援機構の支援メニュー

- 【フラット35】地域活性化型(Uiターン)

岩手県住田町 森林・林業日本一のまちづくり



子育て支援・地域活性化に資する取組の概要

★出生率の向上と社会増減ゼロの実現のため、里山で暮らし続けられる基礎的な生活機能を確認し、真の意味での「住みたい町：住田」を将来の姿として目標に掲げ、平成28年3月に「住田町人口ビジョン・総合戦略・総合計画」の政策パッケージを構築。

● 子育て支援の取組

- ・人口ビジョン・総合戦略・総合計画の政策パッケージにて、子育てを支援
- ・教育委員会、町民生活課、保健福祉課の各課が横断的に子育て世帯に対し支援を実施
- ・平成27年度からの子ども・子育て支援制度スタートに伴い、3～5歳児の保育料無料化等の取組を開始

● 地域活性化の取組

- ・人口ビジョン・総合戦略・総合計画の政策パッケージにて、地域づくり、しごとづくりを支援
- ・空き家・空き地情報バンク制度を定め、空き家情報をHPにて公開
- ・各課が持つ支援制度をまとめ移住者に情報を提供
- ・移住・定住情報の特設ページを開設し、情報を集約
- ・移住相談窓口を開設し、移住に対しワンストップサービスを実施

地域活性化等に資する住宅取得に対する財政支援の概要

● 住宅建築事業費補助金

補助金の額は定額50万円とし、以下に該当する場合はそれらを加算(工事費の20%を上限とする)

- ・移住もしくはUターンし、又は町内の賃貸住宅から転居した者 50万円
- ・18歳以下の者が属する場合 50万円
- ・町内の建築業者により新築 100万円
- ・町産材を使用した場合、
1㎡あたり2.5万円(上限50万円)

平成29年度補助対象世帯数:5戸



住田町新庁舎(平成26.9～)
特徴的な壁や梁を使用した木造建築



住田町の基本データ

人口	0.6万人
出生数	23人
世帯	0.2万世帯

(出典)住居基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成28年1月1日現在)

関連するトピックス等

次の4点を基本的な目標とする「森林・林業日本一のまちづくり」を目指し、豊富な森林資源を整備、加工し、住宅建設など木材利用につなげる林業振興に取り組んでいる。

- ・環境と調和しながら循環する森林・林業の実現
- ・住田型森林業システムの構築
- ・住田町自身を森林・林業のブランドとして発信
- ・森林・林業日本一のまちづくりに対する町民の理解と協働

保育園児(森の保育園など)、小学生(見学など)、中学生(森林林業体験など)、一般(森の達人(マイスター)講座)と各年代に応じた「森林環境学習」に継続して取り組んでいる。



住宅金融支援機構の支援メニュー

- 【フラット35】子育て支援型(若年子育て・同居・近居)
- 【フラット35】地域活性化型(Uターン)



住宅金融支援機構
Japan Housing Finance Agency